

第3次 えびの市生活排水対策総合基本計画



令和7年12月
宮崎県えびの市

目次

第1章 序説	2
第1節 目的	2
第2節 計画の位置づけ	2
第3節 計画の期間	3
第2章 地域の概要	3
第1節 人口	3
第2節 生活排水処理施設整備状況	4
1 下水道の整備状況	4
2 合併処理浄化槽設置の推進	4
3 し尿処理施設の整備状況	5
4 農業集落排水処理施設等の整備状況	5
5 浄化槽の整備状況（生活排水処理状況）	5
第3節 水質の現状及び動向	6
1 水質の現状及び動向	6
2 生活排水の処理の状況	6
第3章 生活排水処理施設整備計画及び評価	7
第1節 基本方針	7
第2節 流域人口	7
第3節 流域別生活排水処理人口等	8
第4節 流域別生活排水処理施設整備計画	8
第5節 し尿・汚泥処理計画	8
資料編	11
資料－1 浄化槽設置基数の状況	11
資料－2 浄化槽処理人口の推移（見込）	11
資料－3 単独浄化槽処理人口推移及び見込	12
資料－4 事業費(実績)	12
資料－5 事業費の算出(計画)	13
資料－6 生活排水処理率の推移	13
資料－7 浄化槽整備計画終了年度の検討	14

第1章 序説

第1節 目的

近年、生活様式の多様化により、生活をとりまく環境は大きく変化するなか生活排水も水質汚濁、生態系や飲料水等への影響が問題とされ、社会的にもその対策の必要性と緊急性が深く認識されるようになっている。

このようなことから、川内川の最上流部に位置する本市にとって、生活排水を適切に処理することが重要となっており、えびの市第6次総合計画でも基本施策に掲げており、「河川汚濁が生活排水の適切な処理等により軽減され、水環境が保全されているまち」を目標とする。

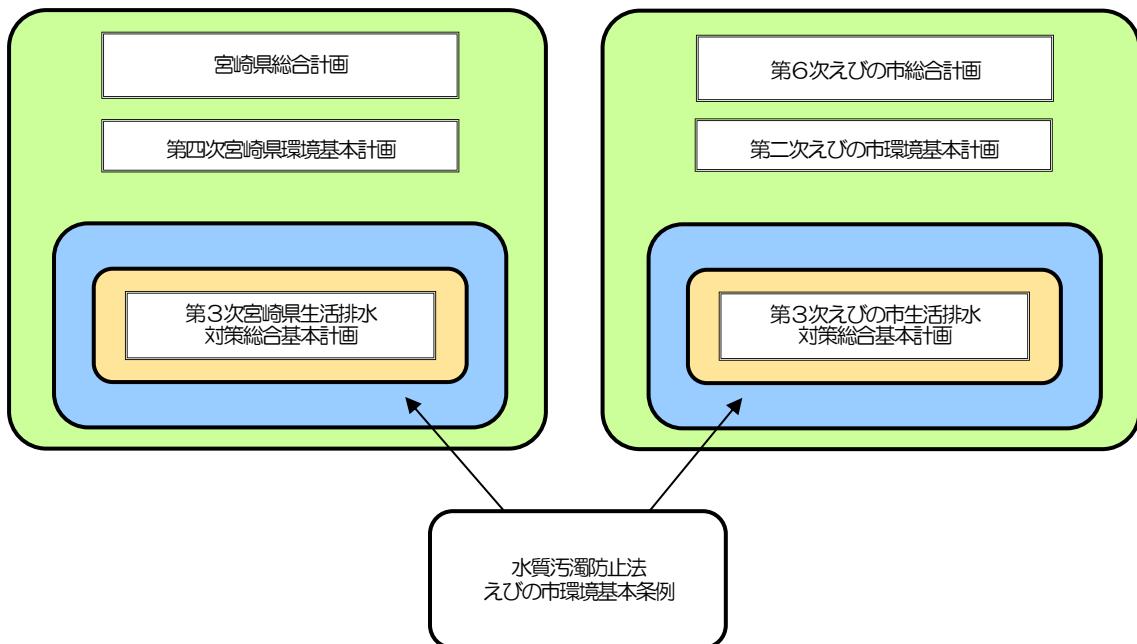
今回、前計画の策定から5年が経過し、取り巻く環境や社会状況等の変化を踏まえ、生活地域の状況を把握し、地域特性にあった経済的で効率的な生活排水対策の更なる推進を図り、公共用水域の水質保全に資することを目的として、計画を見直し、「第3次えびの市生活排水対策総合基本計画」として策定する。

第2節 計画の位置づけ

本計画の位置づけを図1に示す。生活排水対策の推進は、「えびの市総合計画」及び「えびの市環境基本計画」の施策のひとつとして位置づけられており、本計画は、本市の生活排水対策の方向性を示し、具体的な施策を実施するためのものである。

なお、本計画は水質汚濁防止法の規定に基づく計画でもあり、宮崎県の総合計画等の上位計画及び国・県の法令との整合を図る。

図1



第3節 計画の期間

本計画の実施期間は令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間とする。

但し、大幅な社会情勢などの変化が生じた場合は、必要に応じて見直しを行うものとする。

第2章 地域の概要

第1節 人口

昭和 45 年からの世帯数及び人口の推移を表 1 に示す。本市の人口は、令和 2 年度の国勢調査結果において 17,638 人となり、平成 22 年度からの 10 年間で 3,968 人 (18.3%) 減少し、平成 27 年度から 5 年間では 1,900 人 (9.7%) 減少している。また、世帯数は平成 22 年度からの 10 年間で 1,028 世帯 (11.3%)、平成 27 年度からの 5 年間では 518 世帯 (6.0%) 減少しており、人口とともに 1 世帯当たりの人数の減少が伺える。また、令和 7 年 3 月 31 日現在の流域別人口は表 2 のとおりである。

表 1 人口・世帯数の推移

年次	世帯数	人口 (人)		
		総数	男	女
昭和 45 年	8,084	28,972	13,385	15,587
昭和 50 年	8,271	27,241	12,535	14,706
昭和 55 年	8,594	27,246	12,713	14,533
昭和 60 年	9,100	28,034	13,151	14,883
平成 2 年	9,212	26,826	12,496	14,330
平成 7 年	9,248	25,872	12,192	13,680
平成 12 年	9,345	24,906	11,692	13,214
平成 17 年	9,148	23,079	10,807	12,272
平成 22 年	9,078	21,606	10,134	11,472
平成 27 年	8,566	19,538	9,204	10,334
令和 2 年	8,050	17,638	8,339	9,299

資料：国勢調査

表 2 流域別人口（令和 7 年 3 月 31 日現在）

流域名	流域人口 (人)
川内川流域	16,798
岩瀬川流域	8
合計	16,806

資料：市民環境課

第2節 生活排水処理施設整備状況

1 下水道の整備状況

本市では、本計画の方針により公共下水道事業については着手しない。

2 合併処理浄化槽設置の推進

生活排水処理施設における集合処理施設と個別処理施設の費用比較は、環境省が策定した「生活排水処理施設整備計画策定マニュアル」に基づいて第2次計画策定時に算定したところ、本市としては集合処理が有利な箇所もあるが、全体的にコスト比較したところ集合処理（公共下水道）より個別処理（合併処理浄化槽）の方が低コストになり、合併処理浄化槽設置整備事業を推進することとした。よって、本事業を継続的に推進することとする。

【参考—平成14年11月策定「第2次えびの市生活排水対策総合基本計画」より抜粋】

（3）費用比較の結果

区域ごとの個別処理施設及び集合処理施設の費用比較の結果は、表4-6に示すとおりである。都市計画用途地域及び隣接地については、集合処理施設が有利という結果が出た。また、菖蒲ヶ野、五日市、麓、坂元・二日市、二八下、大明司、西上江、田代、白鳥、東川北・中野、西郷、西川北、大溝原、昌明寺、岡松、亀沢地区についても集合処理施設が有利という判定結果である。

接合区域の検討についても表4-7で検討した。下島内・上島内・大溝原地区については、個別処理が有利であると判定結果が出たが、その他は集合処理施設が有利という結果になった。

整備にあたっては、費用比較の結果を尊重する必要があるが、個別処理である合併処理浄化槽は、公共下水道等の他の生活排水処理施設と同様に、構造、材質及び使用実績からも恒久的な生活排水処理施設であり、所定の機能を維持しつつ長くその効果を発揮し、中小市町村において経済的にも有利であることが明らかになっている。また、①平成3年度から実施している事業（合併処理浄化槽設置整備事業）との整合性②市内を均等に整備していく③市財政の負担の軽減なども重要な判定の要因になる。

このようなことから、当市においては特に財政面の観点から、合併処理浄化槽において生活排水対策を講じていくものとする。

3 し尿処理施設の整備状況

本市のし尿処理施設は平成元年に竣工し、し尿及び浄化槽汚泥を処理している。し尿処理施設の整備状況は表3のとおりである。

表3 し尿処理施設整備状況（令和7年3月31日現在）

事業主体	流域名	処理規模	処理方法	竣工年度	所在地
えびの市	川内川	40kl/日	標脱	平成元年	永山 773 番地

資料：えびの市美化センター

4 農業集落排水処理施設等の整備状況

本市では、農業集落排水処理施設等は設置していない。

5 浄化槽の整備状況（生活排水処理状況）

本市における浄化槽設置による生活排水の処理状況は、表4に示すとおりである。

表4 生活排水処理状況（令和7年3月31日現在）

流域名	し尿浄化槽処理人口（人）			
	水洗化人口		小計	非水洗化人口 (汲取槽使用)
	生活排水処理人口 (合併処理浄化槽)	生活排水未処理人口 (単独処理浄化槽)		
川内川流域	12,495	1,782	14,277	3,791
岩瀬川流域	0	0	0	8
全流域	12,495	1,782	14,277	3,799

資料：市民環境課

第3節 水質の現状及び動向

1 水質の現状及び動向

(1) 川内川水域

川内川水域における環境基準点の水質(BOD)の経年変化をみると、表5に示すとおり環境基準を達成しており、良好な水質が保たれている。しかし本市は川内川の最上流に位置することもあり、積極的に河川浄化に取り組む必要がある。

表5 川内川(亀沢橋)BOD測定値

年度	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
測定値	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6

A類型基準値 2.0以下 資料：宮崎県環境白書

(2) 岩瀬川水域

岩瀬川水域における環境基準点の水質(BOD)の経年変化をみると、表6に示すとおり環境基準を達成している。

表6 岩瀬川(岩瀬橋)BOD測定値

年度	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
測定値	0.5	0.5	0.8	1.0	0.8	0.8	0.9	0.6

A類型基準値 2.0以下 資料：宮崎県環境白書

2 生活排水の処理の状況

各流域における生活排水の処理状況(人口)は表7に示すとおりである。

表7 生活排水の処理の状況(人口)

区分	年度	平成3	平成13	平成18	平成25	令和元	令和6		
							川内川流域	岩瀬川流域	合計
計画処理区域内人口(人)	26,518	25,584	23,778	21,087	18,961	16,798	8	16,806	
水洗化・生活雑排水処理人口	1,603	5,700	8,956	11,641	12,779	12,841	0	12,841	
下水道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コミュニティプラント	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浄化槽	1,603	5,700	8,956	11,641	12,779	12,841	0	12,841	
農業集落	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漁業集落	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単独処理浄化槽	5,940	5,105	4,845	3,397	2,026	1,214	0	1,214	
非水洗化人口(汲取槽)	18,975	14,779	9,967	6,037	4,168	2,743	8	2,751	
計画処理区域外人口(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料：市民環境課

第3章 生活排水処理施設整備計画及び評価

第1節 基本方針

本市は、「河川の汚濁が生活排水の適切な処理等により軽減され、水環境が保全されているまち」を目指している。この目標のため、生活環境面では、生活排水を処理して自然環境に戻すことが社会的な責務であるとの認識のもとに、以下の生活排水対策を強化し実施していく。その整備の基本方針は次のとおりである。

- ① 本市では、集合処理である公共下水道及び農業集落排水施設と個別処理である浄化槽整備との費用比較を行った上で、総合的判断により市内全域において合併浄化槽設置整備事業を推進する。
- ② 浄化槽設置整備にあたっては、公用浄化槽等整備事業（市町村設置型）の適用は行わず、当初からの住民が主体になって個別に設置、管理する浄化槽設置整備事業（個人設置型）を適用するものとする。
- ③ 単独処理浄化槽（生活排水未処理）設置している家庭については、生活排水対策である合併処理浄化槽への転換について積極的に啓発を行う。
- ④ 生活排水の処理に伴って発生する汚泥は、えびの市環境センター（し尿処理施設）で処理する。
- ⑤ 浄化槽の適正な管理が行われるよう、設置者に対する指導を強化するとともに、組織的な維持管理の整備などを検討する。
- ⑥ 事業の円滑な推進を図るため、広報誌による啓発等を強化するなど、住民の理解と協力を得るため啓発活動を行う。

第2節 流域人口

本市の現在（令和6年度末）及び目標年度（令和12年度）の流域別人口は表8に示すとおりである。

表8 流域人口の設定

流域	人口 現在 (令和6年度末)	目標年度 (令和12年度見込)
川内川流域	16,798人	14,059人
岩瀬川流域	8人	8人
全流域	16,806人	14,067人

資料：市民環境課

第3節 流域別生活排水処理人口等

本市の流域別生活排水処理人口は表9の示すとおりであり、生活排水処理率を5年後の令和12年度において全流域で生活排水処理率93.4%を目標とする。

表9 流域別生活排水処理人口

区分	流域・年度		川内川流域		岩瀬川流域		全流域	
	令和6	令和12	令和6	令和12	令和6	令和12	令和6	令和12
計画処理区域内人口(人)	16,798	14,053	8	8	16,806	14,067		
水洗化・生活雑排水処理人口	12,841	13,141	0	0	12,841	13,141		
下水道	0	0	0	0	0	0		
コミュニティプラント	0	0	0	0	0	0		
浄化槽	12,841	13,141	0	0	12,841	13,141		
農業集落	0	0	0	0	0	0		
漁業集落	0	0	0	0	0	0		
単独処理浄化槽	1,214	402	0	0	1,214	402		
非水洗化人口(汲取槽)	2,743	510	8	8	2,743	524		
計画処理区域外人口(人)	0	0	0	0	0	0		
生活排水処理率(%)	76.4	93.5	0.0	0.0	74.3	93.4		

資料：市民環境課 令和12年度は見込

第4節 流域別生活排水処理施設整備計画

本市の生活排水処理施設整備計画は、表10のとおり計画するものとし、整備予定期間については、財政状況を勘案し適宜整備年度の検討を行うものとする。

表10 流域別生活排水処理施設整備計画

流域名	処理施設名	計画処理区域	計画処理人口	整備予定期間	事業費見込み
川内川流域	合併処理浄化槽	全域	250人	令和8年度～令和12年度	122,000千円

資料：市民環境課

第5節 し尿・汚泥処理計画

本市のし尿の収集・運搬については、許可業者が実施している。また、浄化槽汚泥の収集・運搬についても許可業者が浄化槽清掃業と併せて実施している。また、本市のし尿および浄化槽汚泥は全量を本市のし尿処理施設（えびの市環境センター）で処理し、汚泥については脱水後、堆肥化処理（委託）している。

表 11 し尿・浄化槽汚泥搬入状況

区分	年度						
	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
し尿	5,212	5,005	5,026	4,725	4,487	4,380	4,167
浄化槽汚泥	12,291	12,919	13,126	13,268	13,793	14,055	14,073
計	17,503	17,924	18,152	17,993	18,280	18,435	18,240

資料：えびの市美化センター

表 12 汚泥処理状況

区分	年度						
	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
余剰汚泥量(m³)	5,180	5,059	4,643	4,512	4,512	4,407	4,377
汚泥処理量(m³)	3,378	3,356	3,348	3,390	3,296	3,227	3,091
搬出汚泥(t)	372	375	349	345	338	307	297

資料：えびの市美化センター

えびの市環境センターは、平成元年竣工の標準脱窒素処理法による 40 kℓ/日の施設である。処理水質は基準値を確保し現段階で運転に支障はないが、浄化槽汚泥が既に投入量の約 50%を超えており、搬入されるし尿の性状などは設計値より低い状況にある。

表 13 搬入し尿等の性状

区分		平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
BOD	混合	平均	3,287	3,708	3,217	3,700	2,564
		最小	340	1,100	1,600	1,800	750
		最大	4,500	5,900	4,500	7,900	5,300
	し尿	平均	5,362	4,543	1,899	54	345
		最小	440	580	74	16	1.7
		最大	11,000	8,400	5,700	83	3,600
	浄化槽	平均	1,192	345	1,642	3,048	2,058
		最小	20	12	24	220	50
		最大	4,200	2,500	6,900	9,100	10,000
SS	混合	平均	6,771	8,608	5,983	6,275	3,436
		最小	400	2,000	900	5	39
		最大	22,000	16,000	11,000	18,000	8,800
	し尿	平均	3,328	5,477	1,439	8.8	9.7
		最小	280	350	10	1	1
		最大	9,000	13,000	8,000	20	30
	浄化槽	平均	2,648	58	1,623	2,659	2,387
		最小	10	3	20	220	2
		最大	2	190	6,200	12,000	7,900

※令和 6 年度は計測なし

設計値

【BOD】	混合	10,500
	し尿	13,500
	浄化槽	7,000

【SS】

混合	12,250
し尿	21,000
浄化槽	13,000

資料：えびの市美化センター

BOD … 生物化学的酸素要求量

SS … 浮遊物質量

放流水の処理については、わずかに設計値を上回っている場合もあるが、排水基準については全て達成している。

表 14 放流水の状況

年度区分	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
pH	7.5	7.4	7.1	7.1	7.3	7.2	6.9
BOD	1.8	2.7	2.4	2.9	2.6	1.8	1.1
SS	1.6	2.2	2.5	1.7	1.5	3.2	2.5
T-N	16.6	11.0	19.1	18.4	9.7	7.8	21.0
T-P	0.6	0.4	0.5	0.4	0.6	0.7	0.4
大腸菌群数	30 未満						

【設計基準】

pH	5.6～8.6
T-N	10
BOD	10
T-P	1
SS	5
大腸菌群数	1,000

【排水基準】

pH	5.6～8.6
T-N	120
BOD	160
T-P	16
SS	200
大腸菌群数	3,000

資料：えびの市美化センター

T-N … 全窒素 T-P … 全リン

なお、目標年度(令和 12 年度)のし尿・汚泥の排出見込は表 15 のとおりである。

表 15 し尿・汚泥排出見込

(kℓ)

年度区分	令和 6 年度	令和 12 年度
年間	汲取し尿	4,167
	浄化槽等汚泥	14,073
	年間計	18,240
1 日当たり	汲取し尿	11.4
	浄化槽汚泥	38.6
	日計	50.0
		51.2

資料：えびの市美化センター

(注) 汲取し尿の原単位(過去 5 か年の平均)2.59

浄化槽原単位(過去 5 か年の平均) 2.17

資料編

資料－1　浄化槽設置基数の状況

年度	平成2 以前	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10
設置数	-	5	35	84	157	130	88	128	152
処理人口(人)	1,286	34	247	641	655	444	413	545	484

年度	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19
設置数	80	98	126	130	112	152	159	164	137
処理人口(人)	258	355	387	401	358	522	488	507	428

年度	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28
設置数	135	97	101	115	95	90	98	90	86
処理人口(人)	392	294	293	325	291	265	298	266	275

年度	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	合計
設置数	118	118	94	76	83	66	38	48	3,485
処理人口(人)	339	316	282	199	207	182	117	47	12,841

平成3年度より合併処理浄化槽設置整備事業（補助事業）を開始

資料－2　浄化槽処理人口の推移（見込）

年度	5人槽		7人槽		10人槽		計	
	基數	使用人数	基數	使用人数	基數	使用人数	基數	使用人数
令和7	27	43	3	7	0	0	30	50
令和8	27	43	3	7	0	0	30	50
令和9	27	43	3	7	0	0	30	50
令和10	27	43	3	7	0	0	30	50
令和11	27	43	3	7	0	0	30	50
令和12	27	43	3	7	0	0	30	50
計	162	258	18	42	0	0	180	300

資料－3 単独浄化槽処理人口推移及び見込

(人)

年度	平成 13	平成 14	平成 15	平成 16	平成 17	平成 18	平成 19	平成 20
処理人口	5,105	5,053	5,001	4,949	4,612	4,315	4,229	4,112

年度	平成 21	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28
処理人口	4,045	3,928	3,747	3,487	3,397	3,235	2,646	2,498

年度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
処理人口	2,405	2,237	2,026	1,876	1,782	1,769	1,356	1,214

年度	令和 7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12
処理人口	972	858	744	630	516	402

資料－4 事業費(実績)

人槽別 年度	5人槽	7人槽	10人槽	計 基数	撤去	宅内配管工事	事業費(千円)
	基数	基数	基数		基数	件数	
	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)		事業費(千円)	事業費(千円)	
令和 2	71	4	1	76	20	22	25,522
	20,052	1,104	366		1,800	2,200	
令和 3	64	8	1	73	11	15	23,718
	18,058	2,622	548		990	1,500	
令和 4	64	2	0	66	7	30	23,405
	17,728	552	0		630	4,495	
令和 5	34	4	0	38	5	19	14,098
	9,418	1,380	0		450	2,850	
令和 6	43	4	1	48	9	19	17,624
	11,746	1,242	548		810	3,278	
計	276	22	3	301	52	105	104,367
	77,002	6,900	1,462		4,680		

資料－5 事業費の算出(計画)

人槽別 年度	5人槽	7人槽	10人槽	計	撤去	宅内配管工事	事業費(千円)
	基数	基数	基数	基数	基数	件数	
	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)		事業費(千円)	事業費(千円)	
令和8	54	5	1	60	30	30	27,021
	15,687	1,862	412		3,060	6,000	
令和9	54	5	1	60	30	30	27,021
	15,687	1,862	412		3,060	6,000	
令和10	54	5	1	60	30	30	27,021
	15,687	1,862	412		3,060	6,000	
令和11	54	5	1	60	30	30	27,021
	15,687	1,862	412		3,060	6,000	
令和12	54	5	1	60	30	30	27,021
	15,687	1,862	412		3,060	6,000	
計	270	25	5	300	150	150	135,105
	78,435	9,310	2,060		15,300	30,000	

資料－6 生活排水処理率の推移

実績

年度区分	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
合併浄化槽処理人口(人)	12,258	12,533	12,872	12,693	12,779	12,563	12,495	12,405	12,794	12,841
単独浄化槽処理人口(人)	2,658	2,498	2,405	2,093	2,026	1,876	1,782	1,769	1,356	1,214
汲取槽処理人口(人)	5,426	5,024	4,330	4,485	4,168	3,964	3,771	3,771	3,076	2,751
計	20,342	20,055	19,607	19,271	18,973	18,403	18,048	17,945	17,226	16,806
生活排水処理率(%)	60.3	62.5	65.6	65.9	67.4	68.3	69.1	69.1	74.3	76.4

計画

年度区分	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
合併浄化槽処理人口(人)	12,891	12,941	12,991	13,041	13,091	13,141
単独浄化槽処理人口(人)	972	858	744	630	516	402
汲取槽処理人口(人)	1,781	1,529	1,276	1,024	771	524
計	15,644	15,328	15,011	14,695	14,378	14,067
生活排水処理率(%)	82.4	84.4	86.5	88.7	91.0	93.4

資料－7　浄化槽整備計画終了年度の検討

区分	年度	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
住宅基本台帳人口	15,644	15,328	15,011	14,695	14,378	14,067	
生活排水処理形態別人口	15,644	15,328	15,011	14,695	14,378	14,067	
計画処理区域内人口	15,644	15,328	15,011	14,695	14,378	14,067	
①水洗化・生活排水処理人口	12,891	12,941	12,991	13,041	13,091	13,141	
合併処理浄化槽人口	12,891	12,941	12,991	13,041	13,091	13,141	
②水洗化・生活雑排水未処理人口	972	858	744	630	516	402	
単独浄化槽人口	972	858	744	630	516	402	
③非水洗化人口	1,781	1,529	1,276	1,024	771	524	
汲取槽人口	1,781	1,529	1,276	1,024	771	524	
計画処理区域外人口	0	0	0	0	0	0	
生活排水処理率(%)	82.4	84.4	86.5	88.7	91.0	93.4	

◎ 合併浄化槽人口が毎年 50 人増の場合

年度 区分	令和 13	令和 14	令和 15
住宅基本台帳人口（人）	13,769	13,477	13,141
生活排水処理形態別人口	13,769	13,477	13,141
計画処理区域内人口	13,769	13,477	13,141
①水洗化・生活排水処理人口	13,191	13,241	13,141
合併処理浄化槽人口	13,191	13,241	13,141
②水洗化・生活雑排水未処理人口	255	104	0
単独浄化槽人口	255	104	0
③非水洗化人口	323	132	0
汲取槽人口	323	132	0
計画処理区域外人口	0	0	0
生活排水処理率(%)	95.8	98.2	100

◎ 合併浄化槽人口が毎年 50 人減の場合

年度 区分	令和 13	令和 14	令和 15	令和 16
住宅基本台帳人口（人）	13,769	13,477	13,141	12,892
生活排水処理形態別人口	13,769	13,477	13,141	12,892
計画処理区域内人口	13,769	13,477	13,141	12,892
①水洗化・生活排水処理人口	13,091	13,041	12,991	12,892
合併処理浄化槽人口	13,091	13,041	12,991	12,892
②水洗化・生活雑排水未処理人口	299	192	66	0
単独浄化槽人口	299	192	66	0
③非水洗化人口	379	244	84	0
汲取槽人口	379	244	84	0
計画処理区域外人口	0	0	0	0
生活排水処理率(%)	95.0	96.8	98.9	100

霧島山の
めぐみ めぐる
えびの

山と水、米と肉。温泉と四季のまち。

えびの市 市民環境課
令和7年12月
宮崎県えびの市大字栗下1292番地
電話 0984-35-3731
E-Mail shimin@city.ebino.lg.jp